

渋谷区立

松濤美術館

あんない

〒150 東京都渋谷区松濤二丁目14番14号 電話465-9421

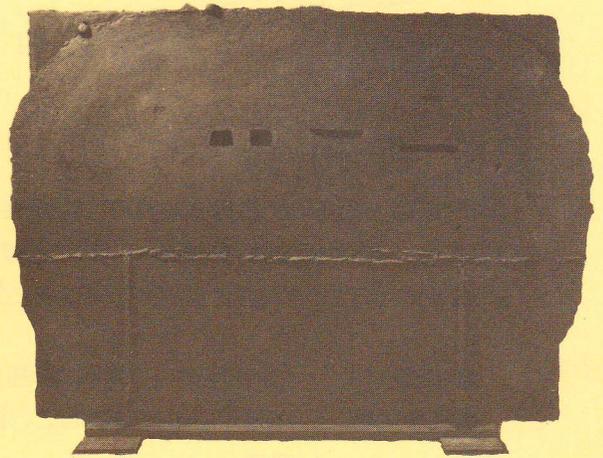
◎特別展

辻 晉 堂

歩 く 壁

(鉄)

1966年



辻晋堂は明治43年（1910）鳥取県日野郡二部村で生まれ、昭和56年（1981）に亡くなりました。21歳の時上京し、独立美術研究所で勉強、23歳の時には日本美術院展に「千家元麿氏像」を出品しました。その後次々に、院展に木彫作品を出品し、日本美術院研究所に新海竹蔵氏の推薦で入りました。

その作風は新鮮ながらも古拙味を帯び、当時の院展に新しい息吹を吹き込みました。平櫛田中は「人材欠乏の木彫界の将来、辻をおいて他に期待すべき木彫人はない」とまで言って辻晋堂を評価していました。

その辻晋堂も昭和30年（1955）頃から陶土を使って焼き上げる彫刻作品、いわゆる陶彫の世界に大きく足を踏み入れ、独自の境地を切り開きました。

辻晋堂の陶彫の作風は極めて抽象的なもので人の意表をつくものが多いのですが、これらの作品は海外でも高い評価を受けました。「時計」「馬と人」などがそれです。

辻晋堂は禅に心酔し、古典の世界にも強い興味を示しています。その為しばしば、禅機（禅の修業に因って得た無我から出る心のはたらき）に基づく作品を作り、又その題名もおかしみに溢れながらも深い世界を表わしたものが多くなっています。又、禅僧独特の透徹した眼は、俗を嫌い、社会を風刺しました。「寒山」「巡礼者(寒拾)」「詰込主義教育を受けた子供」「イタイイタイ」などがそれです。今回は初期の木彫作品から晩年の陶彫作品まで約50点、版画作品約10点を陳列します。

●講演会

●11月26日(土)

「辻晋堂と日本彫刻」

文化庁企画官 三木多聞

●12月17日(土)

「辻晋堂のこと」

彫刻家 堀内正和



▲托鉢僧（陶彫） 1965年

◎美術相談

専門知識と経験豊富な美術作家を招き、みなさまの制作と美術活動の援助になればと、美術相談室を開設いたします。

美術品の鑑定を除き、美術に関するどのような事でも御気軽に御相談ください。

●相談日 11月27日(日)、12月18日(日)、1月15日(日) 午後1時より

●相談内容 洋画・日本画を中心に、みなさまの制作作品を見て、相談指導をいたします。

また、美術史・美術図書などの相談もお受けいたします。

●相談員 美術作家及び当館学芸員

●申込方法 準備の都合上、事前に電話で相談内容を申し込んでください。

◎美術映画会

美術に関する映画フィルムを用意して、映画会を開催いたします。

どうぞ気軽に御参加ください。今後も、月1回は映画会を開催していく予定でいます。

●11月20日(日) 午前11時～ 午後2時～ 「法隆寺」NHK共催

●12月4日(日) 午後2時～ 「国宝の旅立ち」他

●1月15日(日) 午後2時～ (陶芸家)「荒川豊蔵」他 一人間国宝一

(注) 11月20日(日)のみ整理券が必要です。
整理券は当館に置いてあります。

◎会期 昭和58年11月15日(火)～昭和59年1月15日(日)

◎休館日 第2日曜日及び他の週の月曜日、国民の祝日の翌日、年末年始、11/21(月)・11/24(木)・11/28(月)・12/5(月)・12/11(日)・12/19(月)・12/26(月)・12/29(木)～1/3(火)・1/8(日)

◎開館時間 午前9時～午後5時(ただし、入館は4時30分)

◎入館料

	個人	団体(20人以上)
一般	200円	160円
小中学生	100円	80円

案内図

